

育成会だより

2021 年度 第 4 号

発行：認定 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町 7 番 9 号

TEL：0796-24-3660

FAX：0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] <http://www.toyoteiku.com/>

編集 本部事務局 2022 年 3 月 25 日

サポート協会地域生活支援事業研修会

3 月 10 日、豊岡市民プラザにおいて兵庫県知的障害児者生活サポート協会地域生活支援事業助成事業として、足育アドバイザーの百合はるみ様をお迎えし、～自分と家族の足指の健康を守りたい～と題して、保護者様を対象に足育研修会を行いました。

参加者の皆さんで裸足になり、一人ずつ講師による丁寧な足指チェックを受け、足指ストレッチ、靴選びについて、靴ひもについて、実践を交えて、大変ためになるお話を聞かせて頂きました。幼児から高齢者までに通ずる、体を支える足指の大事さに触れ、他の方にも知ってほしい、家族にも伝えたい、と思える内容で、参加された保護者の皆さんも、同じ思いを抱いて帰途につかれたのではないかと思います。



生活介護 じゃんぷ よい



少しずつ暖かくなり、春らしさが感じられる季節となりました。依然として新型コロナウイルスに対する配慮が欠かせない中、利用者さんにどう楽しんで過ごしていただくかを考える毎日です。



じゃんぷでは、定期的にアート製作の時間を設けています。アート製作が苦手な利用者さんに対して、いかに楽しく取り組んでいただけるかを考えるのは、スタッフとしても腕の見せ所です。最近では、写真立ての飾り付けを行いました。飾り付けにも、皆さんそれぞれの個性的なセンスが表れます。また、製作に熱中されている利用者さんの姿には、目を見張るものがありました。出来上がった写真立ては、それぞれの机の上に飾っています。卓上がパッと明るくなり、利用者さんもととても喜んでくださいました。新型コロナウイルスの影響で何かと不便の多い昨今ですが、今出来る事に
取り組み、利用者さんと共に過ごしていきたいです。

〈Y〉



就労継続支援B型 すいーつより

温かな風に春らしさを感じる日々となりました。コロナウイルスの影響により製造量は減っていますが、利用者の皆さんは日々、作業や活動に励まれています。

2月のバレンタインデー、3月のホワイトデーの期間には皆さまからたくさんのご注文をいただき、本当にありがとうございました。利用者さん達は張り切って製造に取り組み、たくさんの方々に商品をお届けすることができました。ご購入いただいた商品をお楽しみいただけましたら幸いです。

また、利用者の皆さんと商品についての意見交換を行い、“季節ごとのイベント商品にどんなものを入れたら良いか”、“新商品としてどんなものが良いか”、“カフェのメニューにはどんなメニューが欲しいか”など、利用者さんの目線で、数多くの意見や商品の案を出していただきました。この取り組みによって、職員が気付かなかった意見が出たり、これに挑戦してみようという企画を立ち上げたりすることができました。まだ実現の途中であつたり、形として表現できていないことが多くありますが、少しずつでも、新商品などで実現できるようにしていきたいと思っております。

皆さまにお喜びいただける商品をお届けできるよう、利用者の皆さんと一緒に進めて参りたいと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。〈K〉



生活介護 ほっと より



「おには～そと、ふくは～うち」。2月3日、LAULAUと塩津のはっち班と合同で節分行事を行いました。鬼に扮した職員に紙で丸めた豆を投げたり、豆まきの歌を歌ったり。ティータイムではロールケーキをおいしそうに食べてにっこり、満足!! その後、はっち班はスノーズレンルームでゆったりとくつろぎ、穏やかな時間を過ごすことができました。

日々、はっち班は資源回収等の仕事を頑張っておられます。また Bee 班は、雪が沢山降る寒い中でも、各施設への昼食後の弁当箱回収や、空き缶の仕分けをコツコツとこなされました。塩津駐車場の雪かきもとても頑張られました。(ありがとうございます!) 個別活動では、トイレットペーパーの芯で可愛い鬼やお雛様を作ったり、キャラクターの雪像を見に竹野へ行ったりしました。

これからも利用者さんといろいろな活動をしていきたいです。また、4ヵ月振りに登所された利用者さんを、皆で「お帰りなさい会」と「お誕生会」で歓迎しました。ご本人さんも、とてもうれしそうな顔をされていました。

ほっとでは、3月から新しい利用者さんをお迎えし、いっそう賑やかになりました。〈W〉



障害児通所支援事業 つくし より

～旅立ちの春～ つくしでは今年度で高等部を卒業し、ご利用終了の方が3名おられます。3名とも幼少期からのご利用で、10年近く通われました。

みんなにとって頼りになる優しいお兄さん、お姉さんの存在の3人がもう来られないと思うと、寂しい限りです。そして、

同じ想いを抱いた子ども達から、卒業生を送る会を開きたいとの声が上がりました。「一緒に遊べなくなるのは寂しいけど、みんなで卒業をお祝いして送り出してあげたい」の気持ちを受け、記念品や会の進行内容を一緒に考えました。

卒業生のカラオケをみんなで聴き、フェスタでの思い出の「ツバメ」を踊り、手作りの折り紙の花束を贈呈、最後は記念撮影。全員揃ってのお別れ会とはいきませんでしたが、誰もが優しい気持ちで過ごしていたように思います。



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学生生活が終わり、社会人としての新生活は、とてもとても大きな変化となりますが、どんな出会いがあるのか楽しみでもありますね。

ゆっくりでいいです(o^—^o)。これまで身に付けてきたそれぞれの表現方法で、周囲に自分の想いを伝え、「私はこういう人間です。」と、理解してもらってくださいね。3名とも伝える力をしっかりと持っているの、そして愛される魅力的な皆さんなので、心配はしていませんが、この先も豊かな人生を歩まれることをスタッフ一同、心から願っています。〈K〉

グループホームOHANA より

今年も早、三カ月が過ぎました。OHANAでは、個性豊かな利用者さん達が、毎日楽しく愉快に過ごしておられます。

昨年暮れに、あお-1のお風呂をリニューアルしました。工事中の一週間は、入浴の為にサテライトへ行かねばならず、利用者さんも職員も多少の苦労はありましたが、完成したお風呂は素晴らしく快適になりました。

今回の改装で、脱衣室と浴室には暖房が付きました。これで、寒い時期も温かく、安心です。湯舟は以前より大きくなり、手すりも必要な所に設置されました。床板も新しくきれいになりました。

利用者さん達もとても気に入ってくださったようで、今まではあまり湯舟に浸からなかった方が、5分程湯船に浸かれるようになりました。

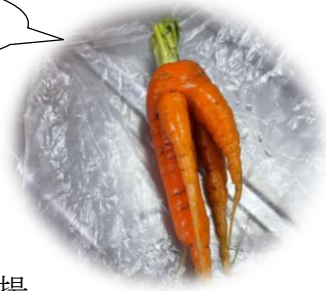
これからも、皆で大切にに使わせていただきたいと思います。〈T〉



ヘルパーステーションはあと より

ご本人さんが収穫された人参です

ヘルパーによる家事援助では、感染症対策として、訪問前に電話で体調などの様子を聞き取り、訪問時には、検温、手洗い、消毒、マスク・フェイスシールドの着用を行っています。



ある利用者さんとの様子をご紹介します。調理については、事前に材料を準備されており、炒め物や揚げ物、煮込み料理などを作られます。時には材料が不足していて悩まれる事もあります。そんな時はできる限り希望に寄り添えるよう、対応しています。献立に偏りがあったり、野菜が少ないような時には、「小松菜は鉄分豊富で、炒めても煮てもおいしいですよ」などと、さり気なくアドバイスをしたりします。

時には衣類整理、掃除などを当日に「お願いしても大丈夫ですか？」と尋ねてこられることがあります。「大丈夫ですよ」と返答すると、安心された表情で作業に取りかかられます。「一緒に作業してもらえるから助かる」と嬉しそうに伝えてくださり、お互いに“ありがとう”の気持ちを伝え合っています。

今後も安心してご利用いただけるよう、努力を重ねていきたいと思います。

〈A〉

本人部会

コロナ感染防止対策を万全にして、人間すごろくを行いました。人間すごろくなのですが、感染予防の為、人間ではなく牛乳パックの駒がマスを進みます。

大きなサイコロを思い思いに転がす利用者さん、丸みがあるゆえになかなか止まらないサイコロを必死で追いかける職員。



「変身する」、「ゴリラのまねをする」など、おもしろいマスに止まっては笑いに包まれました。最後はお楽しみのくじ引きで盛り上がり、景品のお菓子を手にして皆さんにっこり。

今後も楽しく過ごせる活動ができるよう、皆さんと意見交換しながら進めてまいります。

〈W〉

編集後記

春です。寒い冬の間に縮こまっていた体をぐんと伸ばし、新たな気持ちで新年度のスタートへ。はばたけに笑顔の花がいっぱい咲きますように！ 感染症対策は引き続き忘れずに。

〈W〉